



平成22年度 第50回 関東甲信越静地区造形教育研究大会
平成22年度 第37回 静岡県教育研究会美術教育研究部夏季研究大会

2010 静岡

静岡大会【最終案内】

大会テーマ

「つくりだす喜びを培う造形美術教育」

第50回関東甲信越静地区造形教育研究大会静岡大会ならびに第37回静岡県教育研究会美術教育研究部夏季研究大会を下記大会要項により開催いたします。図画工作・美術科教育の充実振興のために多数ご参加くださいますようお願いかたがたご案内申し上げます。

平成22年5月

関東甲信越静地区造形教育研究大会静岡大会

実行委員長 澁谷隆史

静岡県教育研究会美術教育研究部

部長 粉奈康夫

期 日 平成22年8月9日(月)・10日(火)

会 場 静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ」

静岡県静岡市駿河区池田79-4 TEL 054-203-5713

静岡県立美術館

静岡県静岡市駿河区谷田53-2 TEL 054-263-5755

主 催 関東甲信越静地区造形教育連合

関東甲信越静地区造形教育研究大会静岡大会実行委員会

静岡県教育研究会美術教育研究部

共 催 静岡県立美術館

後 援 文部科学省 静岡県教育委員会 静岡市

静岡市教育委員会 静岡県校長会 静岡市校長会

静岡県教頭会 静岡市教頭会 静岡県教職員互助組合

1 大会テーマ 「つくりだす喜びを培う造形美術教育」

サブテーマ ～「みる」ことの再考を通して～

2 趣 旨

子どもたちは、「つくりだす」活動の中で、「人」、「もの」、「こと」と関わることにより、身近なものの造形的な美しさを感じとったり、日本の伝統文化に関心をもったりします。造形美術教育の目的は、よりよい生活や社会を創りあげようとする、まさに情緒豊かな人を育てることだと言えます。そこで、自ら造形能力を高め、つくりだす喜びを生涯にわたって持ち続ける人の育成を願い、本大会テーマを「つくりだす喜びを培う造形美術教育」としました。

図工・美術には形や色による表現活動や、よさや美しさを伝える言葉による表現活動があります。これらの表現活動は、視覚のみならず感性を働かせて「みる」ことで、より深まっていくと考えます。そこで私たちは、「みる」ことをどのように授業に生かし、どのような「みる」を位置づけることができるのか、再度模索することにしました。こうして、サブテーマを「「みる」ことの再考を通して」とし、改めて鑑賞だけにとどまらない、多様な「みる」ことに視点を当てていきたいと思えます。

3 期 日 平成22年8月9日(月)・10日(火)

4 日 程

第1日目 8/9 (月)

9:00	10:00	11:30	11:45	13:00	14:30	14:40	16:00	18:30
代表者 受 付	都県代表者会議	一 受 付	全 体 会	開会行事	基調提案	指導講評	記念講演	レセプ ション

第2日目 8/10 (火)

9:00	9:45	12:15	13:00	13:45	14:00	15:30	
受 付	分 科 会	昼 食	移 動	静 岡 県 立 美 術 館 研 修	説 明	小中学生のワークショップ	自由鑑賞

5 会 場

- 全体会(第1日目)・分科会(第2日目)
静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ」 静岡県静岡市駿河区池田79-4
- 美術館研修(第2日目)
静岡県立美術館 静岡県静岡市駿河区谷田53-2

6 参 加 費 4,000円 (静岡県内の参加者については3,000円)

7 記 念 講 演

- 演 題 「何のために生まれてきたのか?」～その問いかけが、わたしを創る～
- 講 師 漫画家 ごとう和 氏

23歳の時「りぼん」で少女漫画家としてデビュー以降、34年にわたり
ヒューマニズムな人情ドラマをリアルタッチで描く静岡市在住の漫画家

<代 表 作> 「エンジェル日誌」(講談社)看護師の物語10年間連載
「明日がいっぱい集まったなら」(秋田書店)白血病で子どもを亡くした母親の物語
「晴れ、ときどきアスペルガー」(講談社)発達障害者をもつ家族の物語
「びんくのはつ」(秋田書店)パーキンソン病と診断されて思ったこと



8 全 体 会

(1) 基調提案 「つくりだす喜びを培う造形美術教育」～「みる」ことの再考を通して～ 静岡市の造形教育の現状と課題

(2) 文部科学省調査官指導講評

村上 尚徳 先生
文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官
国立教育政策研究所教育課程研究センター 教育課程調査官



奥村 高明 先生
文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官
国立教育政策研究所教育課程研究センター 教育課程調査官



9 静岡県立美術館研修(第2日目午後)

(1) 静岡県立美術館

静岡県立美術館は昭和61年(1986年)開館し、日本美術は江戸時代から現代、西洋美術は17世紀から現代までの風景画や山水画の作品を中心に、約2,500点の作品を所蔵しています。
平成15年(1994年)オーギュスト・ロダンの作品を中心に展示しているロダン館が開館し、静岡県内はもちろん全国からも多くの鑑賞者が訪れています。
静岡大会期間中には、「トリノ・エジプト展」を開催しています。美術館では展覧会のほかにも実技室でのワークショップ、出張美術講座など、学校との連携活動も積極的に行っています。



(2) 研修内容

小中学生のワークショップを館内で開催予定です。自由鑑賞と合わせて、ご自由にご参加ください。

- 小学生を対象としたワークショップ(ロダン館)
「ロダン館のななふしぎ」
クイズ形式でロダン館の七つのなぞを解きながら作品を鑑賞していく活動
- 中学生を対象としたワークショップ(本館展示室)
「ギャラリーツアー」
美術館ボランティアと一緒に会話を楽しみながら鑑賞していく活動
- 自由鑑賞
「トリノ・エジプト展」
「ロダン館」
「収藏品展」

(3) 美術館までのアクセス

- 午前中の分科会終了後、昼食をとった後、13:00より随時会場のグランシップ正面から、無料送迎バスがでます。
- 美術館研修終了後は、15:30ころよりJR静岡駅まで無料送迎バスがでます。
- 分科会会場(グランシップ)から県立美術館まではバスで約10分、県立美術館からJR静岡駅までは約20分かかります。

10 分科会（分科会テーマ・協議内容・提案者・助言者等一覧）

NO	分科会テーマ	協議内容（課題と視点）	担当都県	提案	助言	司会	記録	会場
1	「みる」をきっかけにした創作意欲を高める導入	<p>■研究課題■「導入時におけるイメージや発想のもたせ方」 表現のきっかけとなるイメージや発想をどのようにもたせるか、導入時の目で見ることから、「創造性あふれる作品をつくりたいという意欲」を引き出す授業を考えます。</p> <p>□研究の視点□ 1 表現のきっかけとなるイメージや発想をもたせる方法とその支援 2 比較鑑賞とその活用方法</p>	東京	中島綾子 板橋区立舟渡小学校	福岡貴彦 調布市立第三小学校	玉置一仁 練馬区立光が丘秋の陽小学校	加藤幸子 新宿区立東戸山中学校	6階 交流 ホール
		山梨	五味一也 山梨市立山梨北中学校	鷹野 晃 北杜市立須玉中学校	窪田真敏 甲府市立城南中学校	小田切 武 山梨大学教育人間科学部附属中学校		
		静岡	遠藤育代 富士宮市立富士見小学校	杉本博補 富士宮市立芝富小学校	諏訪部弥生 富士宮市立大宮小学校	早房美穂 富士市立富士南小学校		
2	「みる」をきっかけにした創作意欲を高める導入	<p>■研究課題■「視覚伝達情報以外をきっかけとした導入の工夫」 目で見るとの感覚を生かして、表現のきっかけをつくり、イメージや発想をふくらめ、「創造性あふれる作品をつくりたいという意欲」を引き出す授業を考えます。</p> <p>□研究の視点□ 1 表現のきっかけとなるイメージや発想を生み出す方法とその支援 2 目で見るとの感覚を生かした導入方法</p>	新潟	石田邦伸 長岡市立日越小学校	丸山 実 南魚沼市立塩沢中学校	長谷川太郎 長岡市立上組小学校	堀田祐嗣 長岡市立上組小学校	9階 904 会議室
		千葉	新井裕子 千葉市立幕張南小学校	藤巻直子 千葉市立真砂第三小学校	山高久江 千葉市立幕張南小学校	上野仁子 千葉市立都賀小学校		
		静岡	大塚彰夫 吉田町立吉田中学校	杉村 聡 島田市立北中学校	萩田 浩 牧之原市立襟原中学校	常盤みどり 静岡県立藤枝特別支援学校		
3	「みる」をきっかけにした創作意欲を高める導入	<p>■研究課題■「素材のもつ特性を生かした導入の工夫」 素材の特性を生かして、表現のきっかけをつくり、イメージや発想をふくらめ、「創造性あふれる作品をつくりたいという意欲」を引き出す授業を考えます。</p> <p>□研究の視点□ 1 多様な表現意図を引き出す工夫 2 素材の特性との出会わせ方 3 用具の効果的な活用方法 4 造形遊び（小学校）</p>	神奈川	小川 浩 厚木市立睦合東中学校	成生善幸 川崎市立南加瀬中学校	森元勇気 厚木市立森の里中学校	石田久美子 藤沢市立滝の沢中学校	9階 908 会議室
		長野	梅田久仁 千曲市立戸倉小学校	青木正治 塩尻市立片丘小学校	酒井重明 岡谷市立長池小学校	名取はるな 長野市立湯谷小学校		
		静岡	澤 直木 静岡市立番町小学校	松永広雄 静岡市立葵小学校	小澤佐和子 静岡市立城北小学校	小泉憲明 静岡市立葵小学校		
4	「みる」ことで作品への想いを深める授業	<p>■研究課題■「制作過程における表現主題との向き合わせ方」 表現主題と向き合うための、「みる」を授業の中に位置づけ、作品への想いを深めていくことを考えます。</p> <p>□研究の視点□ 1 表現主題の変容をどうみとるかとその支援 2 柔軟な表現主題の設定</p>	山梨	古屋ゆか 甲州市立東雲小学校	成澤宗克 甲州市立松里小学校	広瀬きよ美 山梨市立加納岩小学校	三枝清美 山梨市立加納岩小学校	9階 910 会議室
		群馬	伊藤弘美 渋川市立渋川北中学校	吉崎 匠 玉村町立玉村小学校	田中 彰 前橋市立桂萱中学校	中澤照幸 高崎市立並榎中学校		
		静岡	山口亜希子 浜松市立三ヶ日西小学校	野中保久 浜松市立赤佐小学校	袴田直孝 浜松市立新原小学校	鈴木史恵 浜松市立神久呂小学校		
5	自分たちの生活を豊かにするための「みる」	<p>■研究課題■「目的を意識したデザイン」 作品をみる立場、使う立場にたち、目的や機能に即した表現を考えていきます。そして作品の展示場所、展示方法、使われる場所や目的を意識した授業を考えます。</p> <p>□研究の視点□ 1 用と美の調和を考えた指導方法 2 デザイン・工芸作品の指導方法</p>	栃木	室井礼子 宇都宮市立雀宮中央小学校	若林直行 栃木県総合教育センター	高久佳代子 宇都宮市立豊郷中央小学校	細内俊久 宇都宮大学教育学部附属小学校	10階 1001-1 会議室
		埼玉	服部方暢 新座市立第五中学校	岩田直代 川口市教育委員会	宮田謙二 朝霞市立朝霞第三中学校	小泉恵美子 志木市立志木第二中学校		
		静岡	宮城嶋理重 静岡市立清水船越小学校	赤堀和三 静岡市立中薬科小学校	角替珠実 静岡市立清水興津小学校	村田奈緒子 静岡市立清水三保第一小学校		
6	地域との関わりを深めるための「みる」	<p>■研究課題■「地域との関わり」 自分たちが住んでいる町や学区に活かされる表現活動を、地域の人々・素材と「みる」ことを通して考えます。</p> <p>□研究の視点□ 1 地域の人、素材とのつながりを生む表現活動・鑑賞活動 2 地域の人、素材とともに作り出す表現活動・鑑賞活動</p>	東京	木原美恵 多摩市立多摩永山中学校	中村一哉 府中市立府中第五中学校	佐藤真理子 大田区立南六郷中学校	上野目浩一 大田区立六郷中学校	10階 1001-2 会議室
		茨城	鴨志田聡子 常陸太田市立菅田小学校	増田容子 北茨城市立関本中学校	近藤雄二郎 北茨城市立中郷中学校	鈴木真理子 高崎市立君田中学校		
		静岡	夏目幸弘 長泉町立北中学校	勝又康次 御殿場市立原里中学校	田中史昭 長泉町立長泉中学校	渡邊千春 清水町立清水中学校		
7	自分たちの生活を豊かにするための「みる」	<p>■研究課題■「自分たちの作品を味わう対話型鑑賞」 友達や自分の作品をみて、意見交換し、作品のよさに気づくことを考えます。（小学校） 友達や自分の作品をみて、意見交換し、主題（あわしたいこと）について問い直して考えます。（中学校）</p> <p>□研究の視点□ 1 作品の中に表れる私らしさ 2 自己が表現したいことに気づく対話型鑑賞</p>	千葉	福永真弓 千葉市立幕張西中学校	山本 豊 千葉市立真砂第一中学校	風間政章 千葉市立打瀬中学校	若海唯賀 千葉市立有吉中学校	10階 1003 会議室
		埼玉	依田淳子 さいたま市立つばさ小学校	小林真理子 さいたま市立芝原小学校	才津純子 さいたま市立常盤北小学校	川邊智佳 さいたま市立与野西北小学校		
		静岡	玉田千恵子 静岡市立長田西小学校	久保田文雄 静岡市東海道広重美術館	池谷典男 静岡市立籠上中学校	堤 康子 静岡市立南中学校		
8	よさや美しさを感じとるための「みる」	<p>■研究課題■「親しみのある美術作品を生かす」 親しみのある美術作品の鑑賞を通して、主体的に味わったり、理解したりしようとする態度を育てることを考えます。</p> <p>□研究の視点□ 1 作家と鑑賞者を結ぶ美術館（学芸員）との連携 2 新たな表現価値に気づく鑑賞活動</p>	新潟	榎並明日香 南魚沼市立塩沢中学校	田村晃夫 湯沢町立湯沢中学校	西野浩司 長岡市立旭岡中学校	堀 和宏 見附市立名木野小学校	11階 1101 会議室
		群馬	黒澤 馨 高崎市立桜山小学校	小林玲子 高崎市立中居小学校	山崎裕美子 高崎市立京ヶ島小学校	武井弘美 高崎市立六郷小学校		
		静岡	永倉真依子 静岡市立清水第八中学校	増田安由 静岡市立新通小学校	剣持早苗 静岡市立清水第七中学校	伊澤千恵子 静岡市立清水第四中学校		
9	よさや美しさを感じとるための「みる」	<p>■研究課題■「美術文化の理解」 日本や諸外国の美術文化に対する興味・関心を高め、それぞれの美術文化を大切にしようとする気持ちを育てることを考えます。</p> <p>□研究の視点□ 1 身のまわりのものから美術文化を探る 2 美術文化の相違点やよさに気づく鑑賞活動</p>	神奈川	井田義之 横浜市立新田小学校	橋本敬子 横浜市立平戸小学校	竹下 護 横浜市立境木小学校	近藤美輪 横浜市立新吉田小学校	12階 1202 会議室
		栃木	渡辺富士雄 那須烏山市立烏山中学校	田中 茂 鹿沼市立栗野中学校	平野和明 那珂川町立馬頭中学校	鈴木正一 那珂川町立小川中学校		
		静岡	近藤郁子 袋井市立袋井北小学校	鈴木英司 磐田市立竜洋中学校	兼子美千子 磐田市立東部小学校	大善恵子 袋井市立袋井北小学校		
10	【提案課題】 「みる」と言語活動を考える	<p>■研究課題■ 学習指導要領では全教科を通して、「言語活動の充実」をうたっています。 図工・美術科教育においてこの「言語活動」をどうとらえればよいか、授業実践例をもとに考えます。</p> <p>□研究の視点□ 【小学校】 1 作品のよさや美しさを実感のあることばで語りたくする授業 2 対話型鑑賞とその指導方法 3 作品を物語らせる方法 【中学校】 1 作品を表現することばを広げる授業 2 対話型鑑賞とその指導方法 3 作品を物語らせる方法</p>	長野	長崎至宏 長野市立吉田小学校 中平紀子 千曲市立戸倉上山田中学校	五明良治 千曲市立植生中学校	清沢龍美 塩尻市立丘中学校	大内奈美子 木曾町立上松中学校	9階 902 903 会議室
		茨城	落合睦美 筑西市立下館南中学校	武藤晴美 下妻市立豊加美小学校	黒澤亮司 筑西市立下館西中学校	長峯寺由香里 結城市立結城南中学校		
		静岡	久保田優子 静岡市立東中学校	大野哲寛 静岡市立賤機中学校	杉山恵子 静岡市立竜爪中学校	平谷匡代 静岡市立東中学校		

●●● 全体会・分科会会場(グランシップ)と県立美術館のご案内 ●●●

◆グランシップへのアクセス

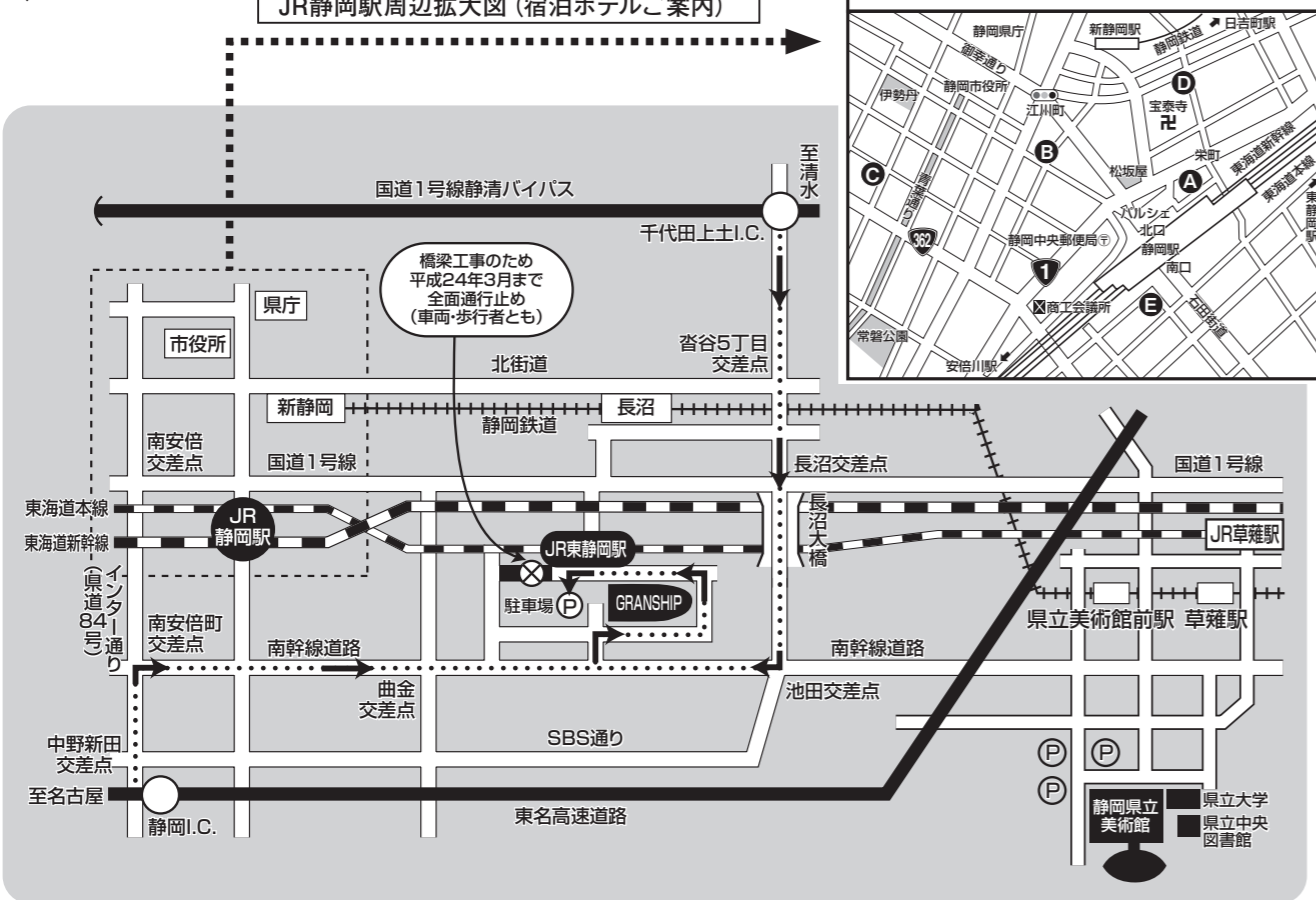
◎電車・・新幹線(ひかり)で東京から1時間。
静岡駅下車、東海道本線(上り)に乗り換え、次の停車駅「東静岡駅」(3分)で下車、東静岡駅から案内に従って徒歩3分。

◎車……大会当日、同会場での催事があります。有料駐車場は限られていますので、なるべく公共の交通機関をご利用ください。

◆県立美術館へのアクセス

◎県立美術館への移動……静岡県立美術館へは全体会・分科会会場のグランシップより、無料送迎バスが出ます。(所用時間 約10分) また、美術館研修終了後はJR静岡駅まで無料送迎バスが出ます。(所用時間 約20分)

◆周辺地図



大会事務局

大会実行委員長 静岡市立清水興津中学校長
〒424-0204 静岡県静岡市清水区興津中町1478-10
瀬谷隆史 TEL 054-369-0105 FAX 054-369-0106

大会事務局長 静岡市立城山中学校
〒421-0135 静岡県静岡市駿河区小坂二丁目33番地
宮田和彦 TEL 054-258-4646 FAX 054-257-8758

●●● 大会参加及び宿泊申し込みのご案内 ●●●

国際観光(株)静岡営業所がご参加の皆様方の大会参加登録の代行、ご宿泊および昼食弁当等のお世話をさせていただきますこととなりました。下記の要項をご覧くださいまして、皆様方のご参加をお待ち申し上げます。

1 大会参加申込について

(1)大会参加を希望される方は、「大会参加」、「宿泊」、「弁当注文」等を最終ページの「大会参加・宿泊申込書」にご記入の上、下記までファックスにてお申し込みください。

申込書の送付先・お問い合わせ先 〒420-0858 静岡市葵区伝馬町6-18 国際観光(株)静岡営業所 「関東甲信越静地区造形教育研究大会静岡大会」宛 TEL 054-254-2468 FAX 054-221-0370 担当:遠藤孝之、瀧野 裕

(2)申込締め切り日 平成22年6月25日(金)

(3)申し込みの回答(参加分科会、宿泊ホテル名)をお送りします。

書類到着後、予約内容を確認の上、お振り込みください。
7月16日までに大会参加証(大会参加券、昼食券、ホテル券)をお送りします。
大会当日は、大会参加証をご持参ください。

2 大会参加について

- 大会参加費 一人 4,000円(大会紀要、児童生徒作品集を含む) ※静岡県内の参加者は3,000円
- 全体会、分科会の参加を記入してください。分科会については案内の「分科会番号」を記入してください。
- 申し込み取り消し後の参加費の取扱について
ご入金後に申し込みを取り消された場合の大会費の扱いは、大会終了後に資料の送付をもってかえさせていただきます。よって返金はできませんのでご了承ください。

3 静岡県立美術館の研修参加について

- 参加・不参加を記入してください。
- グランシップより県立美術館までのバス利用の希望を記入してください。
バスは、グランシップより県立美術館の往路(約10分)、県立美術館からJR静岡駅までの復路(約20分)とも無料です。

4 昼食(弁当)について

- 2日間の弁当の注文を承ります。
会場となるグランシップにはレストランがありますが、他の行事もあり席に限りがあります。また、会場周辺には十分な食事場所がないので、弁当の予約をお勧め致します。
- 1日目の弁当について
①1日目の一般参加者は午後からの全体会にご参加となりますが、弁当を希望する方は、全体会の前の受付が11時45分から13時までです。早めに受付を済ませてください。
②県代表者会議に出席される役員の方で1日目の弁当を希望する方は、会議室で弁当の引き替えをします。
- 2日目の弁当について 分科会終了後、分科会会場にて昼食を済ませて、美術館への移動となります。
- お弁当代金は1食1,000円(お茶付き)です。

5 レセプションについて

- 1日目(8/9)18:30より 宿泊で利用する静岡グランドホテル中島屋にて開催します。
- 参加希望される方は大会参加申込書にご記入ください。

6 宿泊申し込み

- 宿泊期間 平成22年8月9日(月)~10日(火) 一泊二日
- 宿泊ホテル 基本料金(一泊朝食付き)
- お申し込みは「大会参加・宿泊 申込書」に申込番号を記入してください。
- ホテルの予約は先着順とさせていただきますので、第2希望までご記入ください。

ホテル名	宿泊料金	申込番号	立地/条件
ホテルアソシア静岡	シングル ¥10,700円	A	JR静岡駅(北口)より徒歩1分
静岡グランドホテル中島屋	シングル ¥8,800円	B	JR静岡駅(北口)より徒歩5分
静岡北ワシントンホテル	シングル ¥8,000円	C	JR静岡駅(北口)より徒歩13分 駐車場有
ホテルアーバント静岡	シングル ¥7,500円	D	JR静岡駅(北口)より徒歩3分 朝は軽食
静岡ステーションホテル	シングル ¥7,500円	E	JR静岡駅(南口)より徒歩3分 朝は軽食

(5)宿泊の取り消しについて(申込後は下記の取り消し料が必要です。)

21日前	20日~8日前	7日~2日前	前日	当日	無連絡不参加
無料	20%	30%	40%	50%	100%

大会参加・宿泊申込書(FAX 054-221-0370)

※下記の枠内にある「新規申込」に○をつけ、月日を記入してください。
その後、「変更」や「取り消し」がある場合はこのFAX用紙にて該当に○をつけ月日を記入してFAXしてください。

新規申込(月 日)	申込変更(月 日)	取り消し(月 日)
------------	------------	------------

◆参加者について ※お申し込みはお一人ずつ一枚のFAXにて送付してください。

ふりがな		職名	性別	都県名
申込者名			男・女	
参加形態 (○で囲む)	都県代表者 大会役員 助言者 司会者 提案者 記録者 一般参加者			
ふりがな		TEL	()	—
学校名		FAX	()	—
		携帯電話	()	—
学校所在地 (書類送付先)	〒			

◆参加・宿泊について

日	項目	記入欄			金額
1日目 (8月9日)	全体会	参加		不参加	大会参加費 4,000円 <small>(大会紀要、児童生徒作品集を含む) 静岡県内参加者は3,000円</small>
2日目 (8月10日)	分科会 (分科会番号記入)	第1希望	第2希望	第3希望	
	静岡県立 美術館 研修 無料送迎 バス利用	参加 利用する		不参加 利用しない	
宿泊 (8月9日)	宿泊ホテル希望 (申込記号を記入)	第1希望	第2希望		宿泊合計金額 円

◆お弁当について

1日目 (8月9日)	お弁当	希望する	希望しない	1,000円
2日目 (8月10日)	お弁当	希望する	希望しない	1,000円

◆レセプションについて

レセプション	8月9日 18:30~	参加する	参加しない	6,000円
--------	-------------	------	-------	--------

◆報告書について

報告書 (送料込み)	希望する	希望しない	1,000円
------------	------	-------	--------

※後日、予約内容確認証・請求書をお送りいたします。内容をご確認の上、お振り込みください。入金確認後に、大会参加証(大会参加券、昼食券、ホテル券など)をお送りします。

支払い金額	円
--------------	---

◆返金が生じた場合の返金振込先口座

金融機関名		支店名		口座番号		口座名義	
-------	--	-----	--	------	--	------	--

申込締め切り日 平成22年6月25日(金)必着

<p>国際観光(株) 静岡営業所 〒420-0858 静岡市葵区伝馬町6-18 申込先 FAX 054-221-0370 TEL 054-254-2486 『関東甲信越静地区造形教育大会静岡大会』 担当:遠藤孝之、瀧野 裕 営業時間:月~金9:00~17:30(土日・祝祭日 休業)</p>

この参加申込書は、コピーしてからご利用くださるようお願い申し上げます。